



取扱説明書



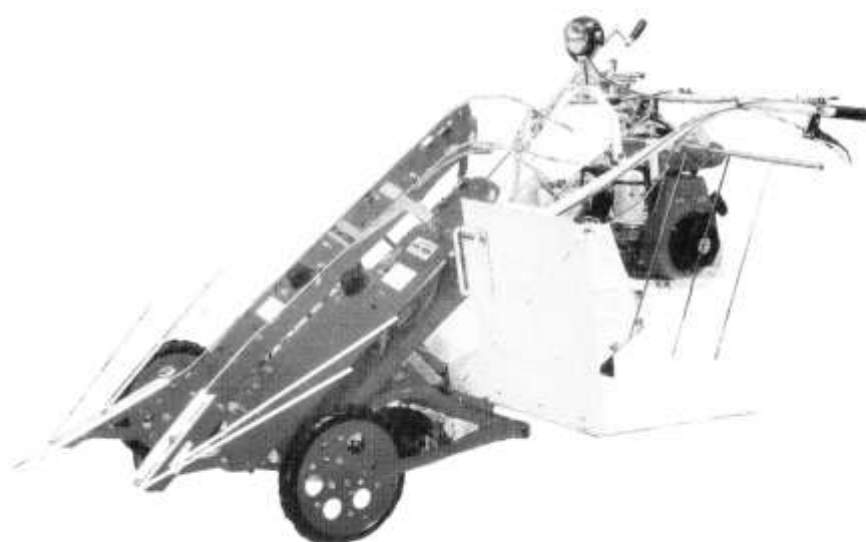
当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。お読みになった後も必ず保存してください。

機種名

BK-3B

自走式豆類刈取機

マメトラビーンハーベスター



マメトラ農機株式会社

はじめに

マメトラ 豆刈機をお買い上げ いただきありがとうございます。

この取扱説明書は「ビーンハーベスター」の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。

製品を貸与される場合は、この取扱説明書を添付してお渡しください。取扱説明書を紛失、汚損された場合は当社又は、当社の特約店に連絡してください。

なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。


ご不明のことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお近くの特約店・販売店にご相談ください。


本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。


なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

◆注意表示について

本取扱説明書では、特に、重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

 **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

サービスと保証について

☆保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

☆アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社営業所までご連絡ください。

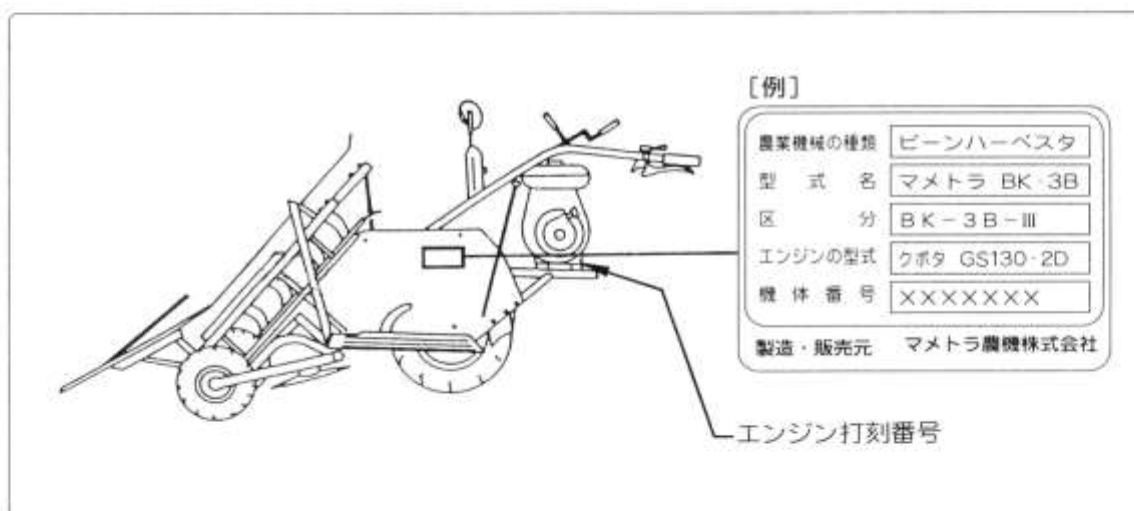
連絡していただきたい内容

- 型式名・区分
- 機体番号・エンジンの場合エンジン番号
- 故障内容（できるだけ詳しく）

☆補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、納期および価格についてご相談させていただきます。



☆取扱説明書について

本機取扱説明書を紛失、破損した場合はコードNo. G08 0661 000でご注文ください。

目 次

● はじめに	I
● サービスと保証について	II
● 目 次	1
1 安全作業のための心得	2
2 各部の名称とはたらき	4
3 安全標識の貼付位置	5
4 各部の給油	7
5 運転前の調節	8
6 作業前の調節と点検	10
7 運転操作	10
8 丸鋸刃の着脱	11
9 搬送部の清掃	11
10 各部の整備と点検	12
11 仕 様	13
12 特 長	13
13 標準付属品および消耗部品	14
● 安全確認カード	

1 安全作業のための心得

■本機を使用するにあたって

使用する人の条件

次のような項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき
- 妊娠しているとき
- 子供の方
- 取扱方法を熟知していない人



使用する人の服装

機械に巻き込まれる事故を予防するため、はち巻き・首巻き・腰タオルをしないでください。また、滑って転倒する事故を予防するため、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。



服装や体の調子に注意

機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。



機械の改造厳禁

純正部品や指定以外のアタッチメントを取付けないでください。また、機械を改造しないでください。



■点検整備をしてください

1年毎に定期点検整備を

機械の整備不良による不具合や事故を予防するために、1年毎に定期点検・整備を受け各部の保守をしてください。特に燃料パイプや電気配線は、2年毎に交換して、機械が最良の状態、安全に作業ができるようにしましょう。



点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備をおこなってください。特に、クラッチ・レバーなどの操縦装置は、確実に作動するように点検・整備してください。



■点検整備をしてください

点検・整備・掃除をするときは

点検・整備・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり動いたりしない平坦で安定した場所を選び、エンジンを止めてください。また、誤ってエンジンが始動することのないよう燃料コックを閉にし、完全な停止状態で過熱部分が十分に冷めていることを確認してからおこなってください。



排気ガスには十分に注意

屋内などでエンジンを始動する場合、排気ガスによる中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所でおこなうようにし、十分に換気をおこなってください。



カバー類は必ず取付ける

ベルトカバーなどの防護装置を取外す場合は、必ずエンジンを止め、完全な停止状態を確認してからおこなってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。



給油・注油するときは

エンジン回転中やエンジンが熱い間は、火傷や火災の危険がありますので絶対に給油・注油をしないでください。また、給油中はタバコや裸火照明などの火気は厳禁です。



長期格納するときは

火災などを予防すると共に、燃料の変質による不具合を防止するために、燃料タンク・気化器内の燃料を抜き出してください。



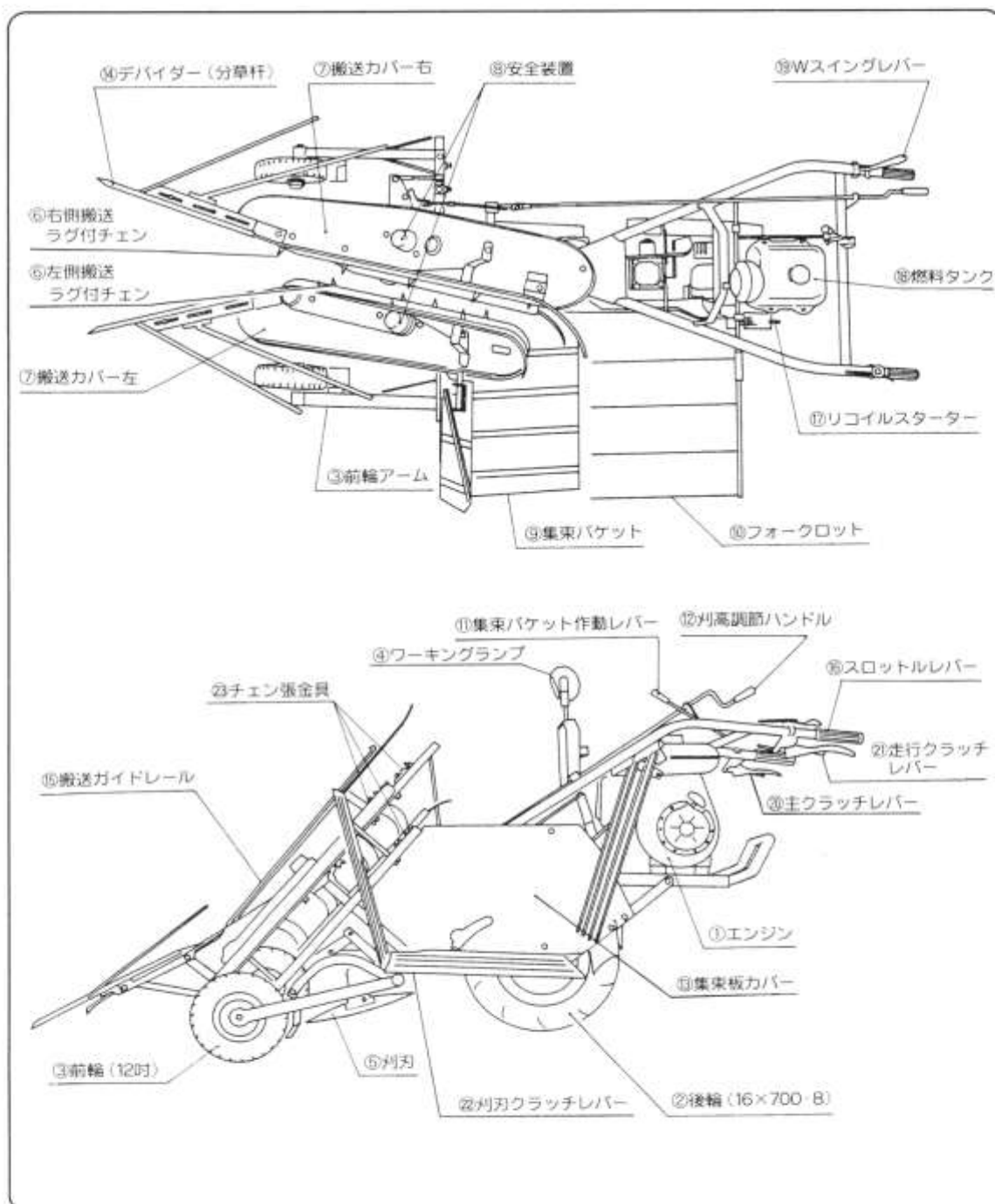
機械から離れるときには

機械から離れるときには、平坦で安定した場所におき、エンジンを止め、各部が完全な停止状態になっていることを確認してください。



2 各部の名称とはたらき

2-1 機体および刈取・搬送部

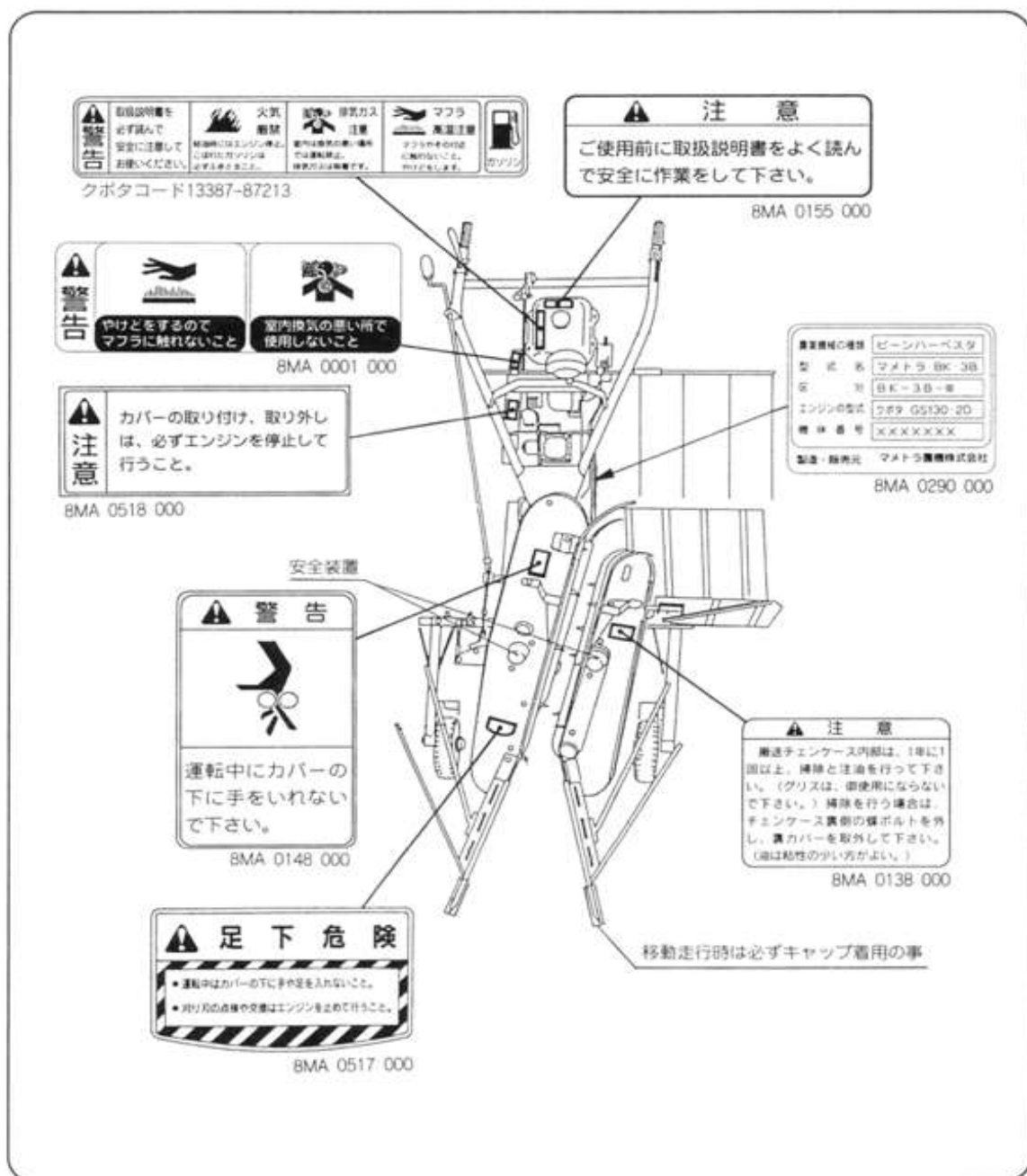


番号	部品の名称	部品のはたらきと仕様およびコードNo
①	機関の名称と仕様	GS130-DK空冷4サイクル 出力2.1~3.4SP
②	後輪	幅広ビロータイヤ 16×700×8 空気圧0.2~0.3kg/cm ²
③	前輪	12吋プラスチックシャリン コードNoG260207000
④	作業燈	夜間の作業用 電球は6V×15Wを使用
⑤	刈刃	超硬チップソーマルノコ外径φ305 コードNoG08 0178 000
⑥	右側搬送 ラグ付チェン	上側チェンコード NoG08 0915 002 下側チェンコード NoG08 1109 000
	左側搬送 ラグ付チェン	上側チェンコード NoG08 0933 000 下側チェンコード NoG08 0394 000
⑦	搬送カバー右および左	搬送チェンに豆莖の巻付を防止するため設けられている。
⑧	安全装置	刈刃、搬送部に右等の異物がはさまったとき自動停止装置。
⑨	集束バケツ	刈倒し作業と集束作業の両方ができるようになっている。
⑩	フォークロツ	刈取集束した豆がバケツからこぼれ落ちないように防止する。
⑪	集束バケツ作動レバー	バケツ上に刈取集束した豆を適当に下していく操作レバー。
⑫	刈高調節ハンドル	作物による刈高の調節をする作業をしながらでもできる。
⑬	集束板カバー	豆の莖が車輪に巻き込まれないためのカバー。
⑭	デバイダー	横に倒れている豆を畝の中央に案内する部品。
⑮	搬送ガイドレール	刈取った豆莖が横に倒れないようサポートするガイド。
⑯	スロットルレバー	エンジンの回転を調節することにより走行、刈取りの早さを刈取りする豆の種類、形態によりコントロールできる。
⑰	リコイルスターター	エンジンを始動する前に必ずエンジンオイルの有無を確認する。
⑱	燃料タンク	タンク容量3ℓです、普通の作業速度で3.5~4時間の刈取作業ができます。
⑲	Wスイングレバー	傾斜地で作業中に刈取機が傾いたときに水平に直すためのレバーで作業しながらでも操作できる。
⑳	主クラッチレバー	エンジンのベルトテンションを「入・切」するレバー刈刃および搬送部が動きます。(走行クラッチが「入」のときは、後輪も動きます。)
㉑	走行クラッチレバー	㉑の後輪を「入・切」するレバー(走行クラッチを「入」にすると刈取、搬送部は回動します。これは止めることはできません。)
㉒	刈刃クラッチレバー	左の絵からは見えない位置になりますが、車を乗降するときには危険ですから「切」にすること。
㉓	チェン張金具	ラグ付搬送チェンは4ヶ所あり、チェン張金具も4ヶ所、それぞれ付いて、張り方の説明マークが貼ってあります。マークの指示通り、矢印の位置までナイロンナットを締め込んでください。他のナットはゆるめないこと。

3 安全標識の貼付位置

○安全に作業をしていただくために、最低限に守っていただきたい注意事項を記載したラベルを機械に貼付けてあります。

注意表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。ラベルが汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。



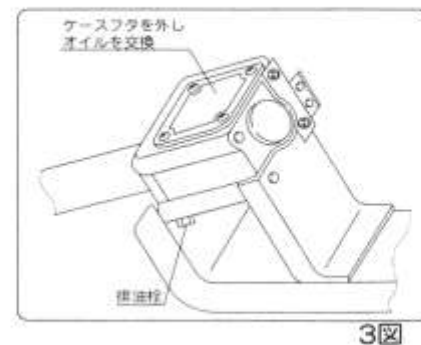
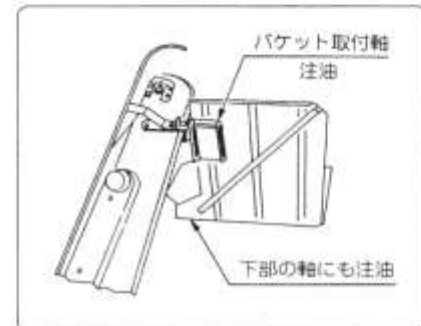
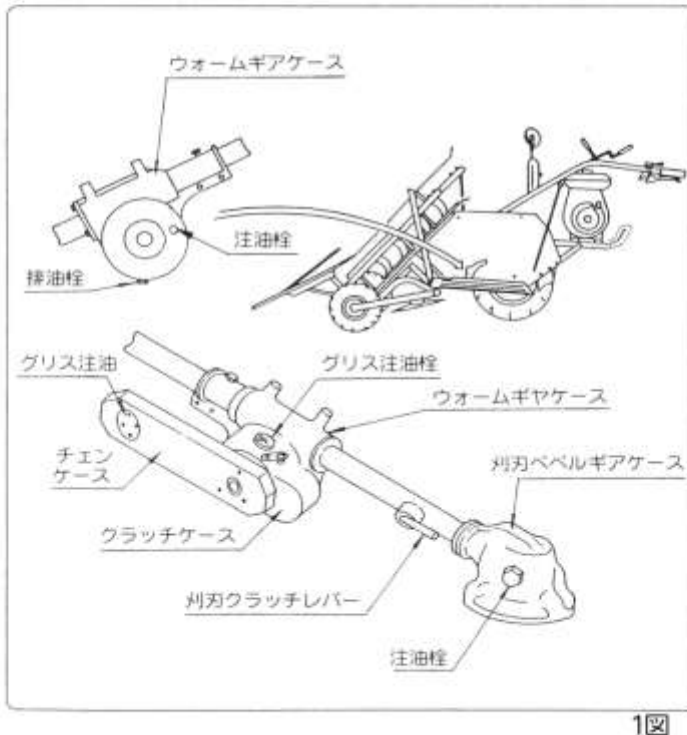
4 各部の給油

○ベベルギヤケース・ウォームギヤ・刈刃ベベルギヤケースには、工場より、集荷時にオイルを入れて出荷されますが、念のため確認してください。(1図・2図・3図)
 尚、エンジンには始めからオイルは入っていませんので、必ず給油してください。
 (SAE30#モーターオイル0.55ℓ)
 各部ミッションケース内は、初期摩耗でオイルが汚れますので、第1回目は15～20時間程度でオイルを交換してください。第2回目以降は50時間毎。

○注油箇所と油量

ベベルギヤケース	ギヤオイル 90#	140cc	毎年1回
ウォームギヤケース	アポロギヤオイルまたは デキシロンオイル	140cc	毎年1回
刈刃ベベルギヤケース	グリス	50cc	毎年1回
クラッチケース	グリス	50cc	毎年1回
チェーンケース	モーターオイルSAE30#	50cc	補給シーズン毎
爪クラッチ(軸)	モーターオイルSAE30#	5～6滴	10時間毎
前輪軸	モーターオイルSAE30#	5～6滴	シーズン毎
前輪上下調節ネジ	モーターオイルSAE30#	5～6滴	適時注油
引起しチェンガイド・チェン	モーターオイルSAE30#	5～6滴	適時注油
集束バケットロッド・リンク	モーターオイルSAE30#	5～6滴	適時注油
集束バケット軸受け	モーターオイルSAE30#	5～6滴	適時注油

★下記以外の注油箇所には、注油マークが付いておりますので、作業前に注油してください。

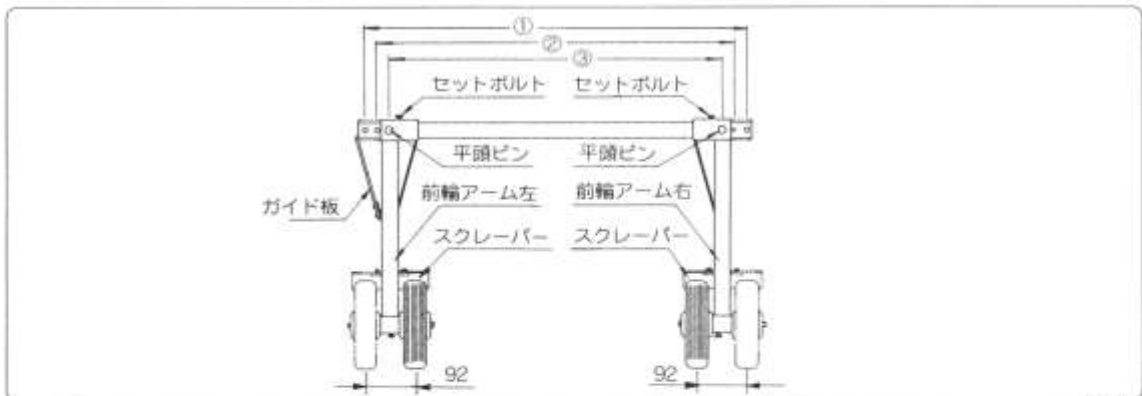


5 運転前の調節

1 前輪幅の調節

作業を始める前に圃場の畦幅に合わせて前輪の幅を求めてください。セット位置は、3段階になっておりますが、さらに前輪を広げたい場合は、左右の前輪アームを入れ替えて、タイヤが外向きになるようにセットしてください。但し、この場合は、①のセット位置は使用できません。(4図)

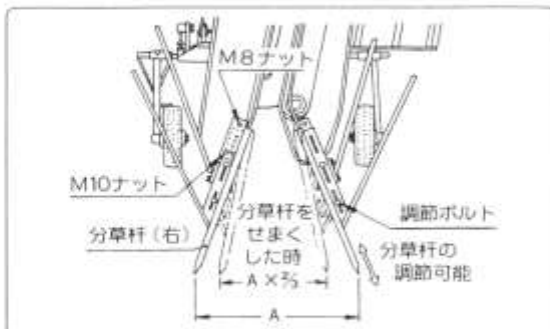
セット位置	前輪幅
①	700
②	650
③	600
③ 車輪外側	784
② 車輪外側	834



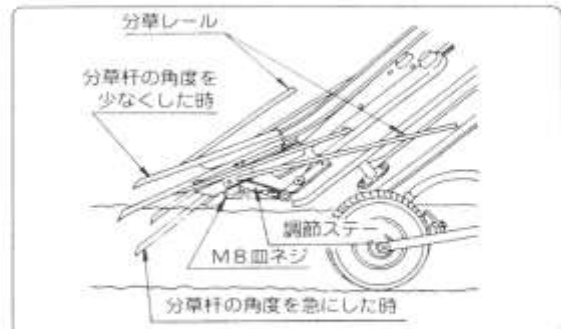
4図

2 分草杆の調節要領

分草杆は刈取る作物の種類や圃場の条件によって、適当に調節することができます。例えば、作物の草丈が低い場合は、分草杆の幅をせまくする必要があります。(5図)のM8ナットとM10ナットを取外し、分草杆を持上げてM10ナット側の穴を外側の穴に入替えると図のようにせまくすることができます。(6図)のように畝の高い圃場では分草杆の角度を急にすることができます。急にすることは、まず分草レールを外すと取付部の所にM8の皿ネジが見えます。これを取外して、調節ステーを前方に傾け、M8の皿ネジを前方にある穴に入替えてください。(6図)のように約10°の角度に調節することができます。



5図



6図

3 車への積降し時の注意

★車で運搬する場合は、次の点に注意してください。

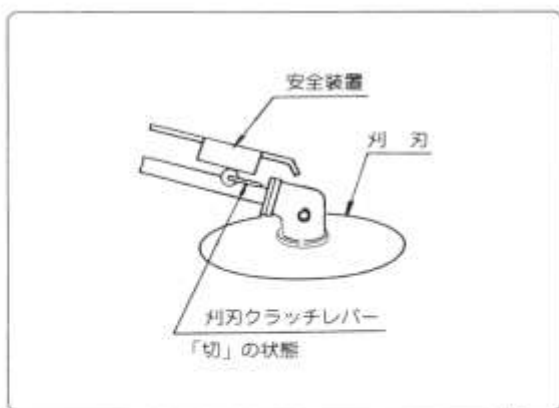
① 積む場合

エンジン始動で載せる場合は、鋸刃が当たらないように前方を上げて十分注意してください。刈刃クラッチを「切」にしてください。(7図)

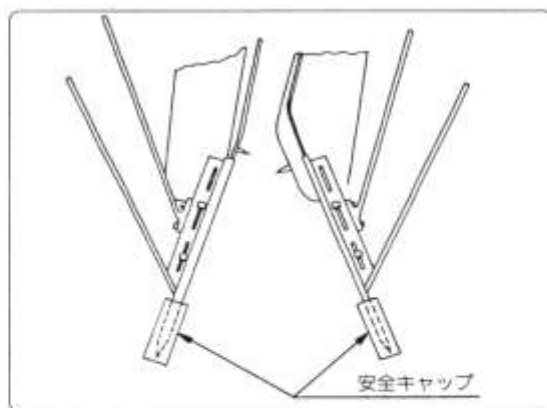
② 降ろす場合や圃場に入れる場合

分草杆の先が刺さらないように、前方を上げて運転してください。

③ 分草杆の安全キャップは、圃場作業以外は必ず装着しておいてください。(8図)



7図

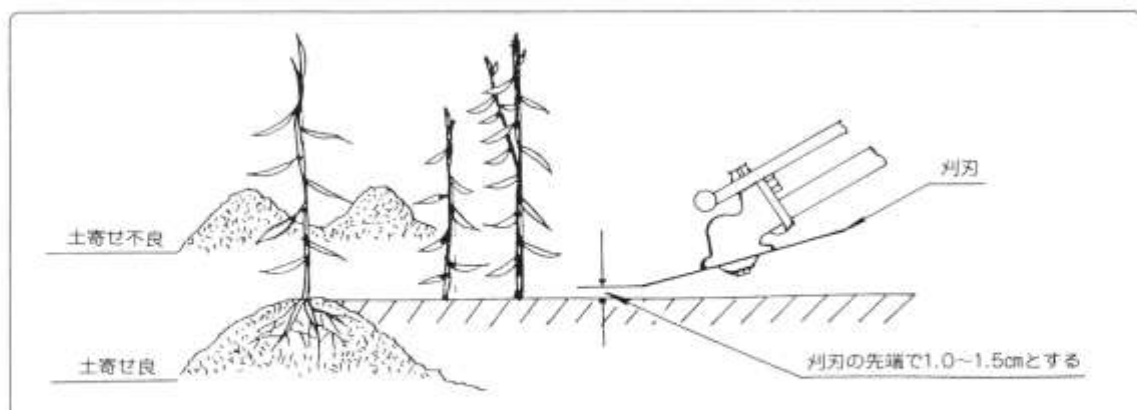


8図

4 圃場での調節

豆類の播種後の管理作業時、雑草防除と倒伏防止に倍土作業を行ってください。但し、倍土作業時に後作業、刈取作業を考え、できるだけ均一な倍土の深さと株元まで土寄せしてください。

刈取時に土を切らずに、能率良く刈取作業ができます。(9図)



9図

6 作業前の調節と点検

★圃場に機械を入れてからの調節

- ① 倒伏している場合や草の多い圃場では、エンジンを低速にして行ってください。
- ② 畦高さに合わせて前輪を上下し、傾斜地では機体が水平になるように手元のレバーで調節してください。また、鋸刃が泥を切らないよう豆莖の根元に鋸刃を合わせてください。泥を切ると鋸刃の摩耗が早く、馬力ロスも多くなります。
- ③ 刈高さが決まった後、分草杆を調節してください。倒伏した幹を引起こすよう表面より1cm～1.5cm程度に先端があるようにしてください。

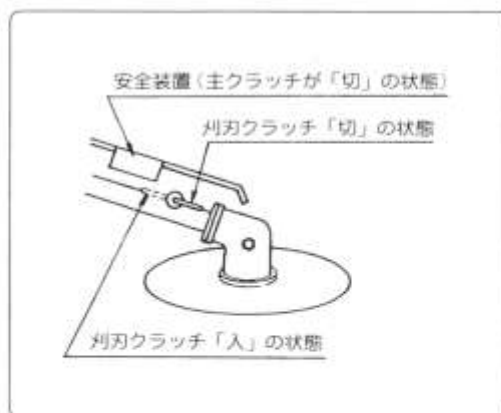
7 運 転 操 作

- ① 本機は、進行方向に対して左側に刈倒し集束して行きます。畦際等で、集束バケットが邪魔になる場合、中割等の場合はあらかじめ邪魔になる株を手刈してください。時計の針の回転方向に回り作業となります。
- ② エンジンの回転を上げて鋸刃を高速回転させてから、移動クラッチを放してください。右手はバケット作動レバーを握り、左手はハンドルを握って運転し、バケットに豆莖が一杯になったら、右手レバーを手前に引いて放出させます。



- ★表面に石のある圃場は避けてください。
- ★乾燥した日中の作業は、脱粒しますので行わないでください。
- ★豆莖より雑草の方が多いような圃場は不向きですから、あらかじめ除草してから行ってください。

- ③ 旋回はハンドルを下げて、旋回しようとする側に機体を傾けて、低速で行ってください。1輪車ですから、サイドクラッチはありませんので、路上で2・3回練習された方がスムーズに行う事ができます。また、路上走行時は刈刃クラッチを【切】にして、刈刃をできる限り上げて稼働させてください。主クラッチ【入】の時は、安全装置により刈刃クラッチレバーの操作ができません。また、刈刃クラッチレバーを入れる時には、刈刃を手で少し回すと入ります。先端には安全カバーを装置してください。(10図)



10図

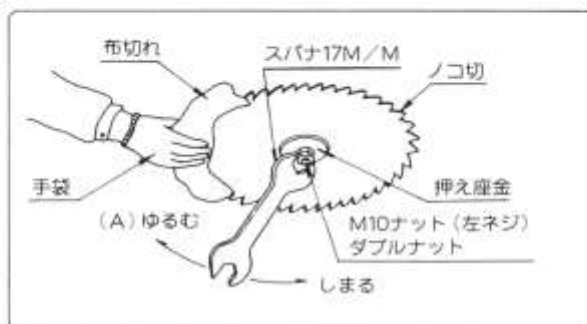
8 丸鋸刃の着脱

① 鋸刃の取替え時の注意

必ず手袋使用し、ポロ切れ等で刃を押さえてから、スパナでナットをゆるめてください。

ナットは、左ネジですから、下図の矢印(A)方向に回すとゆるみます。

(手袋を使用してください。)



11図

★本機を右側に倒して、鋸刃の裏側より見た図(8図)

② 鋸刃をセットする場合

図のように、刃の向きに注意してください。反対に取付けますと作業ができません。ナットは確実に締付けてください。ロックナットでゆるまないようにしてください。



★刃の向きを反対で使用すると刃先の超硬チップが外れて、刈取不能となります。

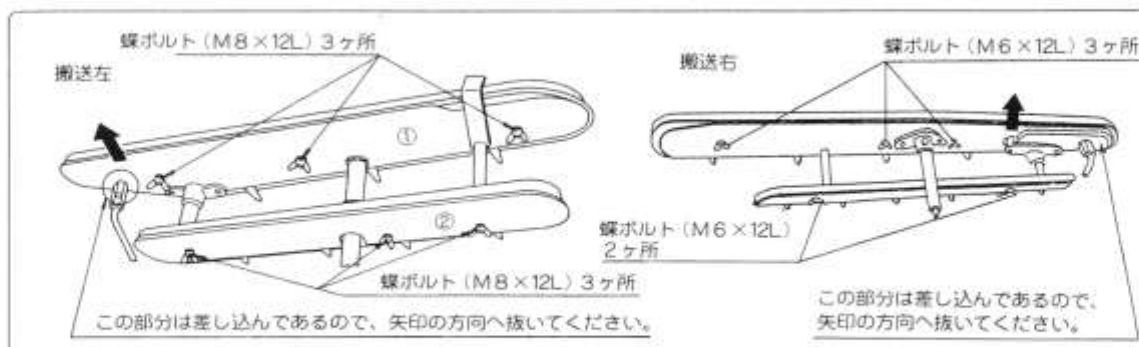
9 搬送部の清掃

★チェーンケースの掃除および裏板の外し方(12図)

搬送チェーンケース内にゴミが溜まりますと、チェーンの動きが悪くなるとともに、安全装置が不必要に作動することがありますので、毎年1回以上は掃除と注油を行ってください。尚、注油の際は、粘度の低い油をご使用ください。(グリス不可)。

チェーンケースの裏板を外す場合は、図に示す、各蝶ボルトを外して矢印の方向に引き、差し込んである所を外してください。

①のカバーは下方に引いて外してください。②と③のカバーは横方向に引くと外れます。



12図

10 各部の整備・点検

ある程度使用しますと、チェーンの伸び、各部のゆるみ、遊び等が出ますので、定期的にチェックし、次の要領で調整してください。

① タイヤ

後 輪	空気圧
	0.2~0.3kg/cm ²

② 搬送チェーンの張り方 (13図)

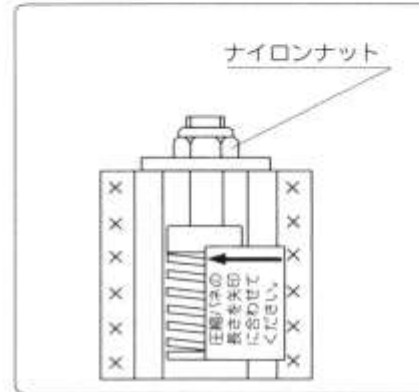
初期使用20時間程度で搬送チェーンの張り具合を確認、調整を行ってください。

チェーンの調整は、右図のような調整箇所が4ヶ所あり、

調整要領の書いたシールが貼ってあります。要領としては、矢印の所までナイロンナットを締め込んでください。

(他のナット類はゆるめる必要はありません。)

搬送チェーンカバー裏板の外し方は、次のチェーンケースの掃除及および裏板の外し方の項を参照してください。



13図



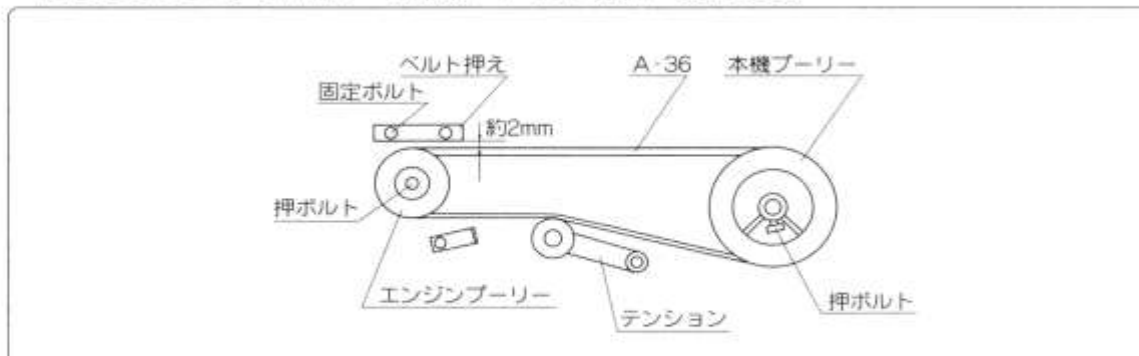
★搬送チェーンを張り過ぎるとチェーンにかかる負荷が過大になり、安全装置が働いてチェーンが動かなくなります。

③ エンジンベルトの調節

主クラッチを入れても機械が動かない場合は、先ずベルトカバーを開けてベルトの張り具合を確認してください。

ベルトがたるみ過ぎている場合は、エンジンを少し(5m~8m)前に移動させます。

Vベルト交換をした場合には、Vベルトがつき回りしないように、ベルト押えを調整してください。調整は、主クラッチを入れた状態で、ベルト押えとベルトのすき間が約2mmになるようにしてください。(14図) ★注意：VベルトはA-36吋です。



14図

11 仕 様

名 称 型 式	マメトラ BK-3B
エ ン ジ ン 型 式	クボタGS130-2D
出 力	2.3ps/3600r.p.m.~ 3.4ps/4200r.p.m.
使 用 燃 料	無鉛ガソリン
タイヤサイズ 前 輪	外径φ300
タイヤサイズ 後 輪	16×700-8 (外径φ403)
機 体 寸 法	長さ2080×幅1070×高さ1030 (mm)
重 量	125 (kg)
作 業 速 度	2.7 (km/h)
刈 刃 形 状	円板鋸刃 φ305 (12吋)
集 束 方 式	バケット手動ダンパー方式
う ね 間 隔	60・65・70・78.4 (cm)
集 束 間 隔	8~10 (m)
伝 導 方 式	ベルト、ペベルギヤ、ウオーム、チェン
能 率	10a/30~60分

12 特 長

- ① 本機は、特に小型計量で取扱いの簡単な豆類刈取専用機です。
- ② 刈刃は、超硬のチップソーを使用しているため、目立ての必要がなく、耐久性は抜群です。
- ③ 機会の調節は、刈高さと傾斜地のスイング角度調節を行うだけで作業ができます。操作は簡単で、手元で行えます。
- ④ 刈取られてバケットに集積され、レバー操作で放出できますので、後の作業が大変楽にできます。
バケットを固定することにより、刈倒作業ができます。
- ⑤ 倒伏した豆類も確実に起こすよう、左右に起こし装置を設け、脱粒ロスの少ないように搬送部は無理のない設計になっています。
- ⑥ 条件の悪い圃場では、低速作業ができるよう、馬力的に余裕のある空冷4サイクルエンジンを搭載しています。
- ⑦ クラッチは、ベルトテンション方式ですから、構造は極めて簡単です。
- ⑧ タイヤは、低圧タイヤを使用し、刈株跡を走行しますので、圃場条件にも適応性は高く、狭いマクラ地で回行ができます。

13 標準付属品および消耗部品

標準付属部品

本機をお買い上げいただくと、下記の書類ならびに部品等を差し上げることにしてあります。お確かめください。

品名	数量	品番	備考
シートカバー	1	G08 0651 000	
デバイダーアンゼンパイプ	1	G08 0655 000	
両口スパナ 17×19	1	9TL 1701 900	17×19
両口スパナ 10×13	1	9TL 1001 300	10×13
六角レンチ(対辺4)	1	9TL 0400 000	
ボルト M8×20L	1	9BT 0802 003	} バケット固定用 (刈倒作業)
ハネザガネ M8	1	9SW 0800 003	
蝶ナット	1	9NW 0800 043	
油差し		9TL 1800 011	
工具袋	1	111 1530 001	
取扱説明書	1	G08 0661 000	
エンジン取扱説明書	1		
保証書	1		
愛用者カード	1		

消耗部品

全ての部品は、材質を吟味し、適切なものを使用していますが、寿命がありますので、早めに部品を交換し、常に機械を最高の状態でご使用ください。消耗部品のうち代表的なものを下表にまとめてあります。

【品番】を明記の上、ご注文ください。

品名	数量	品番	備考
刈刃 [超硬丸鋸]	1	G08 0178 000	BK-200AおよびW用と同じもの
Vベルト	1	9V0 360 001	A36吋
ラグ付搬送チェーン 右上	1	G08 0915 002	152リンク
ラグ付搬送チェーン 右下	1	G08 1109 000	100リンク
ラグ付搬送チェーン 左上	1	G08 0933 000	128リンク
ラグ付搬送チェーン 左下	1	G08 0394 000	100リンク
ライト球(部品名バルブ)	1	BF151-43150A	6V-15W(メーカ、スターレン)
ピロタイヤ16×7.00-8	1	C2510008	後輪(低圧タイヤ)
前車輪 ASSY	2	G08 0295 000	前輪(プラスチックタイヤ)